



広がるキャッシュレス化 ～セルフチェックアウトマシン～

北陸銀行 国際部
 ニューヨーク駐在員事務所
 内間 洋子

1. セルフチェックアウトマシンの普及

セルフドライビング・カーに先行し、現在全米で急速に普及している自動化機器は、セルフチェックアウトマシン(自動支払機)です。

当駐在員事務所前のコンビニエンスストアにも、昨年末セルフチェックアウトマシンが設置されました。客は商品に印刷されているバーコードを自分でスキャンし袋に入れ、クレジットカードで支払います。確かに以前のような支払いの行列がなくなり大変便利です。店員が現金払いを受け付けるレジは1つだけです。

ビジネスの自動化に関する調査を行っている団体RBRによると、アメリカの金融及び小売店での自動機器導入は、2016年に 67%も伸びたそうです。

昨年、ネット販売のアマゾンには、シアトル市内にカード支払い手続きまでも省略できるコンビニエンスストア “Amazon Go” をオープンしました。客は、スマートフォンにダウンロードした専用アプリのQRコードで入店し、商品を手にしたらそのままゲートから店を出ます。天井に設置されたAI搭載のコンピュータービジョン(カメラやセンサー)が、どの商品を持ち出したか解析し、客のアマゾン・アカウントに登録されているクレジットカードから自動的に会計が行われる仕組みです。



【店頭に並ぶセルフチェックアウトマシン
 : NY事務所撮影】



【セルフチェックアウトマシン : NY事務所撮影】

2. キャッシュレス化

飲食業界でも、閉店後の集計、銀行への入金、つり銭の用意などにかかる人件費をなくすため、キャッシュレス（現金お断り）を掲げるレストランやコーヒーショップが急増しているそうです。カード払いの場合、店はインターネット販売と同じように顧客情報をデータ化し、サービスや売り上げ向上に繋げやすくなる利点があるといえます。

あるクレジットカードサービス会社の調べでは、アメリカでは、現在35歳以上のカード保持者の支払い方法は、75%がクレジットカードか即時決済カード、25歳から34歳にいたっては、95%がカードで支払いを済ませているとのこと。カード会社も、店側のシステム導入費用を負担するなどし普及に力を入れています。アメリカの人口の20%（6400万人）は、様々な理由からカードを作れない状況です。そのため、キャッシュレスは特に低所得者層への差別になるとし、ニューヨーク市では、現金を受け付けない店舗に対し罰金を課す法案が検討されています。18歳以下の子供達には、親がプリペイドのVISAやMASTERカードを持たせる家庭もあるようです。

ちなみに、人間の心理として、現金よりカード支払いの方が、より消費が増える傾向があるそうで、国を挙げてキャッシュレス化を進めているスウェーデンでは、近年GDPが5年間で24%も伸びたというデータがあります。

以上

<ご注意>文中意見は筆者の個人的見解であり、北陸銀行としての見解の反映ではありません。当レポートは作成時点の経済状況に基づき、情報提供のみを目的に作成したものです。

記載内容についてはご利用者のご判断と責任のもと、ご利用くださるようお願いいたします。

ほくりく長城会

海外ビジネス情報

発行：北陸銀行 ほくりく長城会事務局
〒920-0024 金沢市西念1-1-3 コンフィデンス4F
(株)人材情報センター内
TEL: (076)254-6500 FAX: (076)254-6565
E-mail: info@chojo-hokugin.jp